

リハビタブル通信



訪問看護ステーションリハビタブル

〒179-0073

東京都練馬区田柄 4-28-14

TEL 03-6904-2721

FAX 03-6904-2731



職員インタビュー

「家に帰りたい」

訪問看護がまだあまり知られていない病院勤務時代、末期がんの患者様を担当した際に言われた言葉です。「家に帰りたい」という患者様に、「自分も最期は家に帰りたいと思うだろう」と共感したものの、家に帰してあげられる手段がなかった私は、その患者様を病院で看取りました。その後訪問看護が広く認知されるようになり、訪問看護では「患者様の家に帰りたい」という思いを叶えられるのではないかしらと思うようになりました。その後しっかりと看護師の経験を積み「看護人生最後は訪問看護で終わりたい」という強い思いから、訪問看護師になりました！！

ご利用者様・ご家族様が主体の看護

これは私がご利用者様と関わらせていただく時に一番大切にしていることです。病院勤務時代、口から食べることができなくなってしまった患者様がいましたが、ご本人様が食べることが大好きだったことから、ご家族様からどうしても食べさせてあげたいとお話がありました。医師やご家族様とも何度も話し合いをし、チーム全員「なんとか食べさせてあげたい」という思いから、吸引器を片手にゼリーを食べることから始めました。退院半年後に「今もお家で食事しています」と嬉しそうにお話をしてくださったご家族様とご本人様の嬉しそうなお顔は今でも覚えています。「治す」だけではなく、ご本人様やご家族様の希望に寄り添える看護を大切にしたいと改めて思いました。

誠実さを大切に

ご利用者様・ご家族様が主体の看護を行うためには、ご本人様の本当の気持ちを話してもらえ関係性を築くことが大事だと考えてます。そのために、まずは自分がいつでも誠実にご利用者様と向き合うこと・日々変わる感情に寄り添い、本当の気持ちを理解できるよう努めています。



管理者・看護師

にらさわ まり

葦澤 真理

ご利用者様ファーストのサービスを提供する

リハビタブルの強みはココ！

リハビタブルでは「ご利用者様・ご家族様ファースト」を一番に考えています。また、リハビタブルの強みは「組織力」です。職員同士が「何かあれば全員で考え伝えあえる」そんな関係性を築いているため、ご利用者様ファーストで臨機応変に対応することができます。ご利用者様には私たちが関わることで、生活の中に「楽しい」や「また頑張ろうと前向きになれる気持ち」をもっていただけたらと思っています。そして私たちはテーマパークよりも人を楽しませ、高級ホテルより高いホスピタリティを持つ集団でありつづけたいと考えています。

葦澤NSはこんな人

ぶれない看護観をもったしっかりもので、リハビタブルのお母さんのような存在です！いつも明るく優しく、どんなことも的確にアドバイスをくれる頼れるお母さん（管理者）！ですが、観音開きのドアを開けて自分がひっくり返ってしまう、ちょっとおどぎな一面もあるのは秘密です♡（笑）

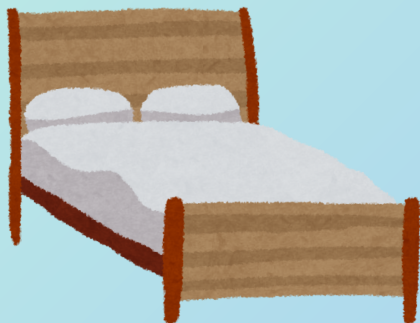
その痛み大丈夫ですか？

自宅でこんなお悩みありませんか？



いつも腰や膝が痛いよ
介助しようと思うとつい力づくで
ものすごく疲れちゃうのよね

そんなときには動作の見直しのタイミング！



ベッドの高さ

おむつ交換の時には、自分がすごく
かがまなくてもよいような高さに
するのがおすすめ（50cm程度が理想）



相手との距離

相手との距離が遠いと介助しづらいです。
相手を触るときに、「小さい前へならえ」くらい
の距離だとよいです

POINT

高さや距離をうまく使って
介助を楽しんでいきましょう！！

POINT